



2019 年度 スタート !!

総会の報告

4/13、14 名出席 (1 名欠席) のもと、総会が成立し開催されました。滞りなくすべて承認され、2019 年度がスタートしましたことをご報告いたします。虹のこんさあとは、遠方の為今年度は不参加。その代わり、済生会のコンサートには出演したいという意見が出て、検討することになりました。2 年後の演奏会に向かって、一緒に頑張らしましょう!! (小川 喜也)

「ずいずいずっころばし」の歌詞の意味 (ネットより)

(江戸時代の「お茶壺道中」にまつわる唄と一般的に解釈。江戸時代には京都府宇治市の名産品である宇治茶を徳川将軍家に献上するため、茶を詰めた茶壺を運ぶ行列が行われていた。大名行列同様、街道筋の住民は土下座を強要されたことから「お茶壺道中」とよばれ 1663 年から幕府が倒れるまで続いた。庶民が行列の前を横切ろうものなら、子どもも問わず手打ちされる身分制度の厳しい時代。「茶壺が来たらピシヤンと戸を閉めて、誰が呼んでも外に出てはいけない」という意味がこめられているという。)



「しゃぼん玉とんだ」

(大正時代にできたこの曲の作詞者の野口雨情の初めての長女みどりは、生後 7 日目で亡くなっています。この時代、衛生面でも栄養面でもずっと悪く、生まれてすぐのちが絶えてしまうことはさほど珍しいことではありませんでした。ある日野口雨情はしゃぼん玉遊びをしている子どもたちと遭遇し、亡くなった長女が無事大きくなったと同じくらいの年頃だろうなと思いながら 1 番の歌詞を書いたそうです。)

**筒井先生が歌詞の意味を説明してくださり、感銘を受けネットですぐ調べてみました。歌詞の意味を知ると、込める思いも違ってくると思いました。



連絡 1、 S さんが 4/3 体調不良のため退団されました。残念で寂しいですが、また元気になって復帰されるよう望んでいます。

2、 ランチ会は 5/1 (水) 12:00~14:00。(出欠は 4/24 までに小嶋に連絡を) 是非ご出席ください。

3、 5/1 の練習は、お休みです。

いつでも見学にいらして下さい。